

高帝國御元帳 標印会社へ市議團より入トライキの交  
渉ありてとか交渉中とかの事会社の知りえりが  
リヨウナ近邊の行動に出でるス外不獲の狀此ノ一時  
ありとが今らは既して平賀を復し他人会社の所  
ニレ不驚の行動無し

A ニリの如キ、狀既々に会社し、市議團し全く持  
久戦に入り之の同会社は切当レム専門、全力にて  
241 四罷其事團は益々結束を固し、此ノ事團之對  
抗しつゝあるが会社の仰山附レシ餘り初矢奏セア  
市議は口ひて深刻時を當リ、何時解決  
さるや全レ陽列多莫ガル、狀能人ナ)

A 高会社は十数より何年も始まりてゐし百三十名  
27 は化事から工場の事の理川修築位の如く  
2 織工内太郎令江原めん起居也し。

□ 市會議員、高会議所員、考へ何事第御多  
ことかし 形勢勘定中

A 一市内に就けの至るの工場、工は、自業の會社の對  
し、見舞金として会社の預、貯金人等と力、而玉  
人ありとが時々送り来る信の件、物、なつて市の工  
場も能够望る種種約の出勤者等々無し。